



「真田史跡巡り」で沼田へ

65期「藤の会」に12人参加

65期の同期12人が4月11日、群馬県の沼田駅前に集合した。今日は昨年5月に実施した真田丸関西ツアーワーに続く2回目の真田関連史跡巡りとなつた。

最初に訪れたのは沼田鶴名神社で、真田信之が改築した真田ゆかりの神社である。次に向かつたのは桜吹雪が風に舞う沼田城址公園である。

戦国時代の沼田は北関東の要衝であり、真田昌幸から北条へと支配は変わったが、秀吉による小田原征伐後、信之の領地となつた。



JR沼田駅前にて

ち、当時関東の五層の天守は江戸城以外では沼田城だけであつた。この名城も五代信利の時代に放漫政治等により改易となり、その後幕府により全て破却された。以後天守等は再建されず、現在は櫓台と石垣さらに本丸の堀の一部が残っているのみで、本丸には往時を偲ぶように鐘楼が建てられていた。

昼食後は二代藩主信吉の墓所がある天桂寺へと向かい、さらにもう一つ格式ある山門が建つ小松姫（信之夫人）の墓所がある正覚寺を訪れた。沼田のいたるところで、真田の家紋である六文銭が見受けられたのは感慨無量であった。

沼田での散策後は高崎へと戻り懇親会に臨み、同窓会や同期会

会の話題で盛り上がった。来春は一泊二日で真田ツアーや第3弾の仙台真田氏関連の史跡巡りを予定している。今から楽しみである。

降っていた。山は雲に覆われて見えないが雪が降っているよう黒姫駅を出発。一茶記念館の前を通り、3キロほど歩いたところに野尻一里塚。塚が両側に残っているのは珍しい。

野尻宿に入ると芭蕉の句碑。「うめが香に のつと日の出る山路かな はせを翁」

公民館の庭に「茶の句碑」。「湖に尻を吹かせて 蝉の鳴 一茶」

野尻宿は俳句が盛んで、「茶はたびたび來ていた」とこと。

宿の外れ近くの安養寺は佐渡から運ばれてきた金銀が一泊した寺。金蔵跡は太子堂に変わり本堂は今にも崩れ落ちそうで、時の流れを感じた。

翌朝、ホテルの窓から、山頂

部を雪化粧した妙高山が見えた。野尻宿出口から歩き、野尻坂峠を越えるとゆるやかな下り道。街道は廃道になり、スノーシェードの道が整備されている。赤川一里塚、赤川神社の先の関川は信越国境。関川を渡つて関川所に入る。

関所、番所が復元されている
関川宿は豪雪に耐えられる家屋
に建て替わっていて、庭園に宿
場の面影が残るのみ。関川天神
社、スキー神社を経て妙高高原



關川關所にて

清水計枝
(64期)

駅から帰路についた。
2018年は越後路の旅です。
10月には佐渡金山を訪れ北国街道の旅を終える予定。佐渡金山は金を掘るだけでなく、小判などを鋳造していた世界で唯一の鉱山で、世界遺産登録を目指しており見学を楽しみにしている。
野尻湖のナウマンゾウ発掘は現在も続いているが、第3次調査に参加した上田高校生7人のうち2人が北国街道歩きのメンバー。次号で発掘体験記とナウマンゾウ博物館について報告する予定です。

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を

ウエマツヤ

別所温泉
一人旅の宿 上松屋

社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕(69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館

〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地

TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

Digitized by srujanika@gmail.com

JR第十、JR第十など
幅広いネットワークで
対応いたします。

マンション管理士・行政書士
赤木千江子(71期)

MOBILE 090-5307-7287

MAIL c-akagi@leaf.ocn.ne.jp

事務所所在地 埼玉県鶴ヶ島市